

平成 30 年 11 月 7 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学

担当：教育研究課長 田中 雅隆

電話：052-853-8076

(名古屋市政記者クラブと同時発表)

**ウインクあいちで名古屋市立大学病院
医療デザイン研究センター講演会を開催します**

名古屋市立大学病院医療デザイン研究センターでは、「手術支援ロボット・医療への新しいアプローチ・次世代の医療への蹊」をテーマとした一般市民等に向けた講演会を開催いたします。

つきましては、一般市民の方などに本講演を広く知っていただくためにご案内申し上げますとともに、あわせて是非ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日 時 | 平成 30 年 12 月 1 日(土) 18 時 30 分～20 時 30 分 (18 時開場) |
| 2 | 場 所 | ウインクあいち 902 会議室 |
| 3 | 対 象 者 | 本学の教職員・学生、一般市民等 |
| 4 | 講演者等 | ○挨拶
名古屋市立大学病院 副病院長 大手 信之
○パネリスト
九州大学大学院 名誉教授 橋爪 誠
藤田医科大学大学院 教授 宇山 一朗
名古屋市立大学大学院 准教授 岡田 淳志
○オーガナイザー
名古屋市立大学大学院 教授 國本 桂史 |
| 5 | 参加費 | 無料 |
| 6 | 定 員 | 先着 150 名 (事前申し込み不要。当日、直接会場にお越し下さい) |



Makoto
HASHIZUME



Ichiro
UYAMA



Atsushi
OKADA



Katsushi
KUNIMOTO

パネリスト

橋爪 誠 先生 九州大学 名誉教授 (北九州中央病院)

宇山 一郎 先生 藤田医科大学大学院 教授

岡田 淳志 先生 名古屋市立大学大学院 准教授

オーガナイザー

國本 桂史 名古屋市立大学大学院 教授

医療・ヘルスケア分野とデザインは、限られた分野のみでの関係を持ち、「医工連携」としてきた。しかし医療やヘルスケアの現場での状況や医療技術を支える工学技術、バイオ科学技術などが大きく進化して、その関係はより深く高度なレベルになりつつある。たとえば近年顕著な進歩をとげているリモート・サージェリック技術・VR 技術・MR 技術・手術支援ロボット技術などもその一つである。新しい医療に関わるテクノロジーも、いままでにない方法論により、医療行為の新しい分野への対応や、医療行為の拡大に対応するために周辺技術や概念を取り込んで統合的なメディカルデザインへ変わることが望まれる。まさに「医工統合」として、人間と医療とデザインの新しい関係に取り組む時期が来ていると考えられる。

12月1日(土)

会場：ウインクあいち902

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 TEL 052-571-6131

主催：名古屋市立大学 後援：名古屋市

お問合せ

名古屋市立大学病院 医療デザイン研究センター 事務局

TEL 052-853-8440 E-mail mdrc@med.nagoya-cu.ac.jp

名古屋市立大学病院
医療デザイン研究センター講演会

「手術支援ロボット・ 医療への新しいアプローチ・ 次世代の医療への蹊」

開場 18:00

開演

18:30~

入場 無料



講演会の内容はこちらから

名古屋市立大学病院 医療デザイン研究センター講演会
「手術支援ロボット・医療への新しいアプローチ・次世代の医療への蹊」

講師プロフィール

橋爪 誠 (はしづめ まこと) 先生

九州大学 名誉教授
北九州中央病院 院長

昭和 54 年九州大学医学部卒業、同大第二外科入局。平成 10 年同大第二外科助教授。平成 11 年同大大学院医学系研究科災害救急医学教授。平成 15 年九州大学病院先端医工学診療部部長兼任。平成 18 年～24 年同病院救命救急センター長兼任。平成 22 年九州大学先端医療イノベーションセンター長兼任。平成 26 年九州大学主幹教授就任。平成 28 年九州大学多元計算解剖学国際研究センター長兼任、平成 30 年九州大学名誉教授就任、平成 30 年北九州中央病院院長、現在に至る。主な研究分野は消化器外科、門脈圧亢進症、内視鏡外科、災害救急医学、ロボット外科、インテリジェント治療を目指した手術支援ロボティックシステムに関する研究に従事、新学術領域「多元計算解剖学」領域代表。主な受賞歴は、第 41 回日本消化器外科学会会長賞受賞、平成 18 年度文部科学大臣表彰科学技術賞受賞、2007 年度グッドデザイン賞受賞、2007 年度今年のロボット大賞優秀賞および審査員特別賞受賞、2010 年 Best Paper Award of International Conference on Advanced Mechatronics ほか。

宇山 一郎 (うやま いちろう) 先生

藤田医科大学 教授
藤田医科大学病院 総合消化器外科 教授

岐阜大学医学部卒業。慶應義塾大学外科学教室入局、慶應義塾大学外科学教室助手、練馬総合病院外科医長、藤田保健衛生大学医学部外科学講師、藤田保健衛生大学医学部外科学助教授、藤田保健衛生大学医学部外科学教授を歴任。専門は食道・胃外科、内視鏡外科。日本における腹腔鏡手術のパイオニア。日本にロボット手術をもたらし、圧倒的な症例数を誇るスーパードクター。1997 年、日本で初めて腹腔鏡による胃全摘出術を実施。2006 年、当時ソフトバンクホークスの監督であった王貞治の胃がん手術を執刀。腹腔鏡手術が日本に普及するきっかけとなる。2009 年に国内初の第 2 世代手術支援ロボット「ダヴィンチ S」を使用した胃がん手術を成功させる。翌年、ダヴィンチが日本で正式に認可されて以来、現在までに 600 例以上のロボット手術を実施。支援ロボットを使用した胃がん、食道がん、肝臓がん、すい臓がんの手術で日本一の執刀数を誇る。2012 年からダヴィンチ低侵襲手術トレーニングセンターのセンター長を兼任。ロボット手術のけん引役として広く活躍する。

岡田 淳志 (おかだ あつし) 先生

名古屋市立大学大学院 准教授

1998 年、名古屋市立大学医学部を卒業。2008 年、医学博士号を取得。日本泌尿器科学会の専門医・指導医を始め、がん治療認定医、腹腔鏡技術認定医、da Vinci® Console Surgeon 認定医、泌尿器ロボット支援手術プロクター、日本ロボット外科学会国内 A 級専門医を取得し、患者の治療だけでなくロボット・腹腔鏡手術の指導医として後進の育成に当たっている。また尿路結石の領域におけるマクロファージを用いた新規治療薬の基礎研究は国内外から高く評価されており、日本医師会医学研究奨励賞を始め、日本泌尿器科学会、米国泌尿器科学会、欧州泌尿器科学会など多くの学会賞を受賞している。2018 年 4 月より、名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野の准教授を務めている。

國本 桂史 (くにもと かつし)

名古屋市立大学大学院 教授
名古屋市立大学病院 医療デザイン研究センター センター長

国内外で多数のデザインディレクション、プロダクトデザインを手がけ、産業開発などの分野で多くの戦略的デザインを行い、航空宇宙から医療・ヘルスケア、次世代電気自動車へ研究とデザインを展開している。多くの医療機器開発プロジェクトを展開し、経済産業省 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業においてプロジェクトリーダーを務める。名古屋市立大学附属病院にてメディカルイノベーションプロジェクトを立ち上げ医療デザイン研究センターのセンター長を務める。国立研究開発法人：国立成育医療研究センター研究所・医療機器開発部長。国立大学法人：北陸科学技術大学院大学客員教授。開発を行った「使いやすく、人体を傷つけない新型喉頭鏡」を 2015 年に医療機器として世界市場に投入、Good Design Award® Product Design で Medical and Scientific 部門において Best in Category (オーストラリア) 受賞、Successful Design Awards (中国) 年度最成功設計賞、PIN UPP デザインアワード (韓国)、グッドデザイン賞 (米国) を受賞、多くのミュージアムでパーマネントコレクションになっている。他に日本のグッドデザイン賞をはじめ世界各国のデザイン賞を多数受賞